

四国森林管理局入札等監視委員会審議概要（案）

（ホームページ掲載日：令和6年2月21日）

開催日及び場所		令和5年12月21日（木曜日） 四国森林管理局3階局議室		
委員		皿田 幸憲（弁護士） 田中 宏和（公認会計士） 府川 一（税理士）		
審議対象期間		令和5年7月1日～令和5年9月30日		
審議対象案件		69件 うち、1者応札案件 41件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		9件 うち、1者応札案件 4件 (抽出率 13%) (抽出率 10%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 -%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	3件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	該当なし	
	業務	一般競争	2件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
			その他の随意契約	該当なし
	物品役務等	一般競争	4件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	該当なし	
		随意契約 (企画競争・公募)	該当なし	
		随意契約 (その他)	0件	
	(特記事項)		なし	

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問 それに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> ・抽出案件の山腹工はどのような工事か。過去の資料を見ると、四万十署管内は、平成30年頃までは、3者入札など競争があったが、ここ2年くらいは1者が多いが背景を教えてください。また、入札参加者を増やすための取組み状況も教えてください。 ・コンサル業務については、よく応札している事業者が3者いるが、新規参入が難しいのか。例えば、新規参入者が、価格を低く入れても落札できないのか。 ・収穫調査事業について、予定価格が1円単位まで記載されているが、これは積算の結果ということか。また、再入札は辞退しているが原因は。 ・林道施設の点検とは、具体的にどういった作業を行っているのか。点検の結果、修繕が必要な場合は別の事業で行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抽出案件の工事は、崩壊した山腹に法枠を設置する工事。山間奥地の現場で利益率が低いことに加え、令和2年度から、国土強靱化対策により、工事量が増加した。このため、1者入札が増加している。また、現地は通勤時間がかかる奥地のため、新規参入は難しいところ。新規参入を増やすために、公告情報を早めに掲載する等、取り組んでいる。 ・入札頻度が高い事業者は、治山、林道の設計に慣れており、技術者の配置や実績を踏まえると評価点が高くなる傾向がある。 ・また、積算根拠を公表しているもので、それを元に各事業者が入札価格を積算しているが、入札価格を下げ過ぎると、業者の利益が確保できなくなる。 ・治山、林道は千円単位にまるめる規定があるが、収穫調査事業はまるめる規定がないため1円単位となる。 ・また、再入札となった場合、事業者がこれ以上、価格を下げられないと判断した場合は辞退する。 ・林道の路体やカーブミラーなどの安全施設などについて異常がないか点検し、その点検結果を報告書で取り纏める事業である。報告書の結果を踏まえ、修繕、改良に反映させている。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し森林管理局長が講じた措置]		特になし